

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和7年度、実績値：令和8年3月末

ステップ１：認定率の比較（年間）

(%)

		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率		0.0%	13.3%	-13.3%	
年齢階級	前期高齢者	0.0%	3.5%	-3.5%	
	後期高齢者	0.0%	19.1%	-19.1%	

ステップ２：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	5,328	5,779	108%		
	訪問入浴介護	人/年	552	290	53%	乖離あり	利用者の減少
	訪問看護	人/年	5,304	5,824	110%		
	訪問リハビリテーション	人/年	1,128	1,193	106%		
	居宅療養管理指導	人/年	6,396	13,685	214%	乖離あり	利用者の増加
	通所介護	人/年	8,832	8,336	94%		
	通所リハビリテーション	人/年	3,036	2,574	85%		
	短期入所生活介護	人/年	1,812	1,473	81%		
	短期入所療養介護（老健）	人/年	144	137	95%		
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	0			
	福祉用具貸与	人/年	15,696	15,682	100%		
	特定施設入居者生活介護	人/年	1,704	1,458	86%		
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/年	72	50	69%	乖離あり	施設未整備
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0			
	認知症対応型通所介護	人/年	0	0			
	小規模多機能居宅介護	人/年	240	194	81%		
	認知症対応型共同生活介護	人/年	648	620	96%		
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	0	0			
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	360	348	97%		
	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	168	0	0%	乖離あり	施設未整備
	地域密着型通所介護	人/年	636	1,045	164%	乖離あり	R6新規事業者の利用者の増加
施設サービス	介護老人福祉施設	人/年	3,072	2,811	92%		
	介護老人保健施設	人/年	3,072	3,007	98%		
	介護医療院	人/年	36	408	1133%	乖離あり	老健から介護医療院に変わった施設の影響
介護予防支援・居宅介護支援		人/年	20,196	20,698	102%		

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円/年)

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	110,497	93,984	16,513	
	訪問入浴介護	53,161	60,095	-6,934	
	訪問看護	48,556	46,763	1,793	
	訪問リハビリテーション	33,818	32,593	1,225	
	居宅療養管理指導	14,170	7,338	6,833	
	通所介護	85,032	83,592	1,440	
	通所リハビリテーション	62,351	61,902	449	
	短期入所生活介護	88,190	75,789	12,402	
	短期入所療養介護（老健）	102,007	91,776	10,231	
	短期入所療養介護（病院）				
	福祉用具貸与	12,749	12,662	86	
	特定施設入居者生活介護	196,823	191,675	5,148	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	85,889	210,710	-124,821	サービスの利用が増大し、見込みより給付費が増加した為
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護				
	小規模多機能居宅介護	218,171	233,853	-15,682	
	認知症対応型共同生活介護	276,088	274,553	1,535	
	地域密着型特定施設入居者生活介護				
	地域密着型介護老人福祉施設	310,769	317,234	-6,464	
	看護小規模多機能型居宅介護	238,518			
	地域密着型通所介護	120,112	88,826	31,285	一人当たりの利用回数の増加
施設サービス	介護老人福祉施設	276,717	280,549	-3,832	利用者の介護度の変化を確認する
	介護老人保健施設	314,172	311,335	2,837	
	介護医療院	387,139	353,402	33,737	
介護予防支援・居宅介護支援		14,237	13,948	288	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

本市は施設サービスが多くあり、要介護1、2の人は老人保健施設、その後に介護老人福祉施設という流れがある。介護老人福祉施設、介護老人保健施設に加え、認知症対応型共同生活介護においても利用者の高齢化に伴い、平均介護度が重度化している。在宅介護という選択ができるよう、サービス提供体制を構築していく必要がある。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

(%)

サービス名		計画値 (9期中)	整備数 (R8.3末)	達成率 (整備数/ 計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
	定期巡回・随時対応型 (施設数)	1	0	0%	応募なし
	夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		
	認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0		

地域密着型サービス	小規模多機能居宅介護 (施設数)	1	0	0%	応募なし
	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	9	0	0%	1件応募あり
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0		
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0		
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	1	0	0%	1件応募あり
	地域密着型通所介護 (施設数)	0	2		

- ・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入をしてください。
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)
- ・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。

事業者の募集について、既存施設への併設、または公募を行う地域密着型サービス事業を合併・併設して新設することを認め、募集範囲を広げた。